

地域包括ケアのもとでライフステージに対応した がん医療を担う看護師養成コース

養成目標

地域包括ケアの時代に、対象のニーズに合ったがん医療を提供するためには、チーム医療が重要であり、専門的知識・技術を備え多職種と連携・協働できる看護師が求められている。本コースでは①臨床現場で解決困難な看護問題に挑戦するがん看護専門看護師(CNSコース) ②がん看護に関する実践力・教育力・研究力を備え、病院や地域で現任教育に携わる看護師(論文コース)を養成する。

コースの特徴

- がん看護専門看護師が運営する三重CNS会と連携した学習会を定期的に行うことにより、実践的な学習機会を提供する。
- 三重県内の7病院をインターネットで結んだ多職種カンファレンスにも参加しチーム医療を実践的に学び、地域包括ケアの時代において、がん看護専門看護師としての役割開発と、地域における保健・医療・福祉ネットワークを構築するための基盤となる教育を行う。



研究計画発表会



大学院授業風景



多職種TVカンファレンス



がん看護実習